



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月13日

東

上場会社名 福留ハム株式会社 上場取引所
 コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)福原 治彦
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員 経理部長 (氏名)深町 誠 (TEL)082-278-6161
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	19,183	0.6	△152	—	△113	—	△134	—
2022年3月期第3四半期	19,068	—	△153	—	△109	—	57	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △172百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △157百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△40.23	—
2022年3月期第3四半期	17.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,292	3,278	21.4
2022年3月期	14,452	3,451	23.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,277百万円 2022年3月期 3,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	24,000	△4.8	△290	—	△250	—	△270	△80.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	3,400,000株	2022年3月期	3,400,000株
2023年3月期3Q	63,030株	2022年3月期	63,010株
2023年3月期3Q	3,336,971株	2022年3月期3Q	3,336,990株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により経済社会活動に回復の兆しが見られ、インバウンド消費の再開や全国旅行支援が開始されるなど、個人消費は緩やかな持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の長期化の影響に加え、急激な円安に伴うエネルギー価格や原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、原材料費やエネルギーコスト、物流コストなどの大幅な上昇が企業収益を圧迫しており、物価上昇に伴う度重なる値上げや景気の先行き不安からくる消費者の節約志向は一層厳しさを増し、競合他社との価格競争の激化や消費マインドが低下するなど、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、今期を最終年度とした「中期経営計画2021年3月期 - 2023年3月期」において、「開発・調達・製造・物流・販売の連携強化を通じた相乗効果の創出」をテーマとして「商品開発の強化」、「販売戦略の構築と実行」、「新規市場へのチャレンジ」の三点に取り組んでおり、各重点施策の展開を積極的かつスピーディーに実行してまいりました。また、原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇をうけ、販売価格への転嫁や商品規格変更を行い、生活様式の多様化に対応した商品展開や新商品の開発など、収益力向上と経営体質強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、191億83百万円(前年同四半期は190億68百万円)となりました。利益につきましては、営業損失は1億52百万円(前年同四半期は営業損失1億53百万円)、経常損失は1億13百万円(前年同四半期は経常損失1億9百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億34百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業におきましては、価格改定に伴う販売価格の上昇に加え、新型コロナウイルス感染症の緩和により、市場が回復傾向にあるなか、家庭用主力商品の拡販に取り組み、大容量商品としてウインナー群の大袋商品などが伸びました。しかしながら、同業他社との価格競争の激化や量販店向け商品の販売量が減少するなど、売上高は減少いたしました。利益につきましては、販売価格が上昇したことやコスト削減に取り組んだものの、急激な円安による原材料価格の高騰や燃料価格上昇によるエネルギーコストの上昇もあり、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は83億10百万円(前年同四半期は83億87百万円)、セグメント利益(営業利益)は2億38百万円(前年同四半期比15.2%減)となりました。

食肉事業

食肉事業におきましては、輸入食肉における継続した仕入価格高騰に起因した国内需要の減退などがあったものの、国産牛肉の販売単価の上昇や外食産業向けの販売が前年に比べ好調に推移したことに加え、国産豚肉の取扱商品の見直しやブランド豚の販売強化を図るなど販売単価が上昇したことにより、売上高、利益とも前年同期を上回りました。

その結果、売上高は108億72百万円(前年同四半期は106億81百万円)、セグメント利益(営業利益)は20百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)22百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億39百万円増加の152億92百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億75百万円増加の68億93百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金15億31百万円の増加と現金及び預金7億78百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億35百万円減少の83億98百万円となりました。主な要因は、投資有価証券73百万円、有形リース資産26百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億12百万円増加の120億13百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ12億96百万円増加の82億71百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金6億44百万円、短期借入金5億円及びその他流動負債2億44百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億84百万円減少の37億42百万円となりました。主な要因は、長期借入金1億70百万円及び退職給付に係る負債71百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億72百万円減少の32億78百万円となりました。主な要因は、利益剰余金1億34百万円とその他有価証券評価差額金57百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年11月11日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,354	1,576
受取手形及び売掛金	2,378	3,909
商品及び製品	894	1,069
仕掛品	51	41
原材料及び貯蔵品	211	274
その他	40	47
貸倒引当金	△13	△24
流動資産合計	5,918	6,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,415	2,362
機械装置及び運搬具（純額）	662	716
土地	2,888	2,888
リース資産（純額）	105	79
建設仮勘定	8	-
その他	62	55
有形固定資産合計	6,143	6,102
無形固定資産	123	105
投資その他の資産		
投資有価証券	2,055	1,981
その他	316	312
貸倒引当金	△103	△102
投資その他の資産合計	2,267	2,190
固定資産合計	8,534	8,398
資産合計	14,452	15,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,080	2,724
短期借入金	4,079	4,579
未払法人税等	47	31
賞与引当金	154	77
その他	613	858
流動負債合計	6,974	8,271
固定負債		
長期借入金	1,779	1,609
役員退職慰労引当金	340	352
退職給付に係る負債	1,511	1,439
その他	395	341
固定負債合計	4,026	3,742
負債合計	11,001	12,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	△1,256	△1,391
自己株式	△80	△80
株主資本合計	2,857	2,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	604	546
退職給付に係る調整累計額	△11	7
その他の包括利益累計額合計	593	554
非支配株主持分	0	0
純資産合計	3,451	3,278
負債純資産合計	14,452	15,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	19,068	19,183
売上原価	16,036	16,078
売上総利益	3,031	3,104
販売費及び一般管理費	3,185	3,257
営業損失(△)	△153	△152
営業外収益		
受取利息及び配当金	44	46
不動産賃貸料	41	41
その他	32	20
営業外収益合計	118	109
営業外費用		
支払利息	50	49
不動産賃貸費用	20	16
その他	3	3
営業外費用合計	74	70
経常損失(△)	△109	△113
特別利益		
固定資産売却益	186	-
特別利益合計	186	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	77	△113
法人税、住民税及び事業税	19	20
法人税等合計	19	20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	57	△134
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	57	△134

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	57	△134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△226	△57
退職給付に係る調整額	11	19
その他の包括利益合計	△214	△38
四半期包括利益	△157	△172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△157	△172
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,387	10,681	19,068
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,387	10,681	19,068
セグメント利益又は損失(△)	280	△22	258

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	258
全社費用(注)	△412
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△153

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,310	10,872	19,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,310	10,872	19,183
セグメント利益又は損失(△)	238	20	258

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	258
全社費用(注)	△410
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△152

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。